

新たな都市像（素案）についてのパブリックコメントにおける意見の概要と金沢市の考え方

- 1 募集期間 令和5年10月4日（水）～令和5年11月2日（木）
 2 提出方法 メール、郵便、ファクシミリ又は窓口へ持参
 3 意見数 110件（意見者数 32人）

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
1	現代の自治体に課せられている諸課題に目配りした内容と思われる。	貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
2	新たな都市像の取組を誰もが実感できるよう、今まで積み重ねたミーティングを生かし、策定願いたい。	
3	都市像の実現に向けて、市長・職員・議員の姿勢として、他都市の真似ではなく金沢市の現状を踏まえる、少数者に対してレッテルを貼ったり差別はやめる、お互いの立場を尊重し話し合う、実態を調査・把握し理解することなどが必要だと思う。	
4	これまで抽象的だった文化を定義づけし、またその文化を礎に施策を展開するという考え方が画期的だ。また、デジタル化の推進や、多様な人々の視点や活力を生かすことなどを横断的視点とすることは非常に大事な取組だと思う。	
5	基本方針の内容には、GXの推進や、デジタル人材の育成や技能の学びなおし、さらには中山間地の活性化など、斬新な内容が盛り込まれており、これまでの施策のブラッシュアップと新しい分野へ挑戦する気概を感じる。20年30年先も、金沢らしい魅力を保ち、世界中の人々が憧れを抱くような、輝きを放つ唯一無二の都市になってほしい。	
6	概要版が分かりやすく目指すべき都市像、5つの基本方針がよく理解できた。この方針に従って、市政を進めて頂きたい。	
7	「未来を拓く世界の共創文化都市」という将来像に共感する。新たな文化の育成強化を望む。	
8	新たな都市像の策定後は、一部の人達のみでなく、広く市民に周知してほしい。	
9	非常にまとまっているが、具体性に欠ける。インパクトがない。	
10	新たな都市像として、各論でもっともらしいことを雑多に書いてはあるが、何を指したいのか分からない。	

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
11	<p>首長が変わる度に都市像を策定しているが、前の十年での市の構想や基本計画、長期計画の検証をまずすべきではないか。それを踏まえ、庁内で議論した上で、有識者からなる懇話会で意見を聞き、新しいものを作ったり、直すべきではないか。</p>	<p>これまでの都市像である「世界の交流拠点都市・金沢」については、その実現に向けた重点戦略計画を毎年度、改定する中で、進捗状況等の確認・検証を行ってきました。</p> <p>今般策定する都市像については、市政を取り巻く環境の変化等を踏まえ、新たなまちづくりの指針とするものであり、具現化する行動計画を、年度内に取りまとめることとしています。</p> <p>これまでの計画の最終的な進捗を勘案しつつ、新たな行動計画では、数値等に基づく客観的な検証が行えるよう、いわゆる重要業績評価指標である、K P I を新たに設定し、毎年度、指標の達成状況等を確認していきたいと考えています。</p>
12	<p>素案には、「豊かな」という言葉が複数でてきているが、使い方が安易ではないか。この都市像は、昭和60年策定の基本構想を継承しているとのことだが、当時の「豊かな」という言葉は、経済的なニュアンスが強かったが、現代は少し違うのでは。それぞれの言葉の使い方を丁寧にしてもらいたい。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
13	<p>あらゆる分野におけるデジタル化の推進を進めてほしい。</p>	<p>基本方針において、「デジタル技術を生かした文化の共有」や、「デジタル技術の活用による福祉サービスの充実・強化」、「D X ・ G X の推進と文化・産業の融合による産業活性化」などを掲げており、令和5年2月に策定した「D X アクションプラン」とも連携を図りながら、各分野におけるデジタル化を推進していきたいと考えています。</p>
14	<p>・デジタル化の対応 デジタル化やI C Tの活用に詳しい人材を派遣することもよいが、市役所や支所に、いつでも誰でも寄れる常設窓口等を設置してはいかがか。</p>	<p>市役所本庁舎では、戸籍等の一部の届出において、24時間体制で受付を行っておりますが、これ以外の常設窓口設置については、庁舎の保安やコストの問題から慎重に検討すべきものと考えております。</p> <p>一方で、令和5年2月に策定した「D X アクションプラン」において「行かない市役所」を目指し、いつでも申請・届出が可能な電子申請手続きの整備を順次進めているところであり、引き続き、一層の行政サービスの向上に取り組んでいきます。</p>
15	<p>金沢の伝統・文化は、市民であれば当たり前と思っているものも多々あり、気付かない部分も多い。良い意味で、外を知る市長により、更に発展させる取組と言え、積極的に進めてほしい。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
16	<p>「魅力づくり」では、共感できる表現が多くあるが、伝統産業や地場産業の実態を踏まえた育成計画と、「住んでよし」が「もう一度来たい」につながることを踏まえた具現化策が望まれる。</p>	<p>伝統産業や地場産業は金沢の魅力であり、これらを生かした観光誘客の参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
17	北陸新幹線金沢開業後、まちには観光客であふれている。各観光拠点の整備が進み、今ではどこの都市にも劣らぬ文化都市金沢ができあがったが、これは、行政のたゆまぬ努力と市民の理解と協力があった結果である。一方で、白山比咩神社から霊峰白山に至る地域は、まだ未開発と考える。市内からレトロな電車で行く北陸鉄道石川線の、新たな観光の魅力を持っていると思う。	これまでも、白山市や北陸鉄道と連携し、石川線を活用した観光プランのPRに取り組んでおり、いただいたご意見を参考に、今後さらなる周知に努めていきます。
18	観光客に対する儲け主義は、金沢の観光を失墜する行為である。自由で活発な企画力は歓迎するが、お客様を失望させる商いは問題であり、行政の監督が必要だと思う。	観光事業者が提供するサービスや対応が、金沢に滞在する観光客の満足度向上には重要であり、引き続き、事業者の育成や連携に努めていきます。
19	外国人を含む観光客に対応するデジタルサービスが重要だと思う。	現在、人流データを活用し、市内観光地の混雑度を予測する「かなざわ観光快適度マップ」を提供しているほか、観光事業者に対しては、外国語翻訳用携帯端末やクレジットカード決済の導入を支援しています。 本市においても今後、観光分野におけるデジタル技術の活用は重要であると考えており、いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
20	主権者である住民本位の地域社会は、「公共の昇華」とともに都市像の軸として必要ではないか。この課題は、基本方針の「(2) 多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまちづくり ②誰もが安心して共に暮らせる地域社会の実現」の項目に該当すると思われる。障害があっても高齢者でも子育て世代も、誰もが安心して住み続けられるまちを目指さなければならない。その根幹として重要なのが「地方自治」であり、「公的部門の拡充」に昇華させることだ。「地域の福祉力を高め地域を福祉の場につくりかえていく実践」は、「共助の強化」ではなく、地域産業や雇用のあり方、公共交通の充実や社会的孤立を防ぐ地域福祉制度の機能強化など、地域の現場がかかえる課題を地域社会の構造的な問題として把握して地域を再生していく作業でもあり、行政の公的責任ふまえた公的制度として固定化・定着させていく事が求められていると思う。「暮らしづくり」として並べられている項目を、公共、人権、民主主義を基軸としたものとして検討していく事が必要と考える。	貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
21	「地域コミュニティ」の課題では、高齢化・孤立化が進み、老朽化で空室が増えている県営・市営住宅の施設・環境と、福祉対応の改善は緊急課題だ。同時に、民生委員や町会役員の担い手不足の課題もある。社会教育機能を発揮しなければならない公民館の機能、市と各地区の社会福祉協議会の役割、包括支援センターなど関係機関の整備と、地域の自治と住民参加を促進することが求められている。	貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
22	<p>基本方針（２）①「・地域への誇りや愛着を醸成する地域活動への参加促進」は「・地域の将来につながる地域活動への参加促進」に修正すべき。</p> <p>「地域への誇りや愛着」は結果として生じるものであり、地域にある諸課題を解決しようとするための地域活動を行政が疎外することにもなりかねない。一見「地域への誇りや愛着」につながらないように見えても（あるいはそう解釈されていながらも）、地域の将来を見据えた新たな試みによって地域を再生・活性化した試みは、これまでも各地に見られる。また、「地域への誇りや愛着を醸成する」と限定した文言は、その判断を誰が行うかによって、政治的に利用、選別されかねないという点でも危惧する。行政は宗教団体ではなく、「誇りや愛着」をわざわざ方針に記すことに拘泥すれば、盲目的・近視眼的な視点にとらわれ、長期的発展をかえって阻害しかねない。行政はこのことにも自覚的であるべきであり、自戒すべきではないか。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
23	<p>金沢方式には、色々と問題があると聞いている。</p>	<p>金沢における町会や公民館、消防団、社会福祉協議会など、コミュニティに関わる基礎的な住民組織では、善隣館や義勇消防の成り立ちにみられる、稀有な金沢の歴史性を根源に、連帯や協働の意識を住民に醸成しながら、地域の暮らしやまちづくり、人づくりに密接に関わってきました。</p>
24	<p>金沢方式の見直しについて、何をどのように変更するのか説明してほしい。</p>	<p>とりわけ、地域が一定の負担をしながら自主的運営を行う「金沢方式」は、活動の自主性・自立性を担保することで、地域の連帯を強め、協働を育むために大きな役割を果たしてきており、本市コミュニティの醸成に欠かせない仕組みだと考えております。</p>
25	<p>金沢方式は地域で運営する大変良い方法であり、地域住民が運営に参画することで一体感が生まれているが、少子高齢化など時代の変化にあわせ、地域負担を軽減願いたい。</p>	<p>他方、人口減少・少子高齢社会が進展し、町会加入率も減少する中で、地元負担の見直しが必要との声があることも承知しております。</p>
26	<p>浅野町校下で直面している、公民館・児童館の建替えの課題について、金沢方式とは何か、なぜ地元負担が必要なのか、世帯当たりの負担額が大きい、少子化なのに児童館が必要なのか、などといった不満や指摘が多く、建設問題がなかなか進まない。金沢方式の見直しにおいて、負担率の引き下げを早急に検討してほしい。</p>	<p>現在、庁内横断プロジェクトチームを中心に、金沢方式の今後のあり方について、検討を重ねており、今後とりまとめる行動計画の中に、反映していきたいと考えています。</p>
27	<p>人口減少・少子高齢化の進展について、小立野校下においても例外でなく、公民館の活動・行事を担う若手が減少し、子供会行事にも支障がでてきている。町会費を払ってくれる世帯数も、ここ数年減少している。マンション等の問題や街灯費用、消防車の更新費用など課題がある。</p>	

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
28	<p>新たな都市像(素案)に、公民館のあり方や役割に関する明確な記載がないことが残念だ。公民館の果たすべき役割は重要だが、活動主体の高齢化と若い世代の無関心に危機感を抱いている。地域に関わる多様な人々の視点や活力を取り入れたまちづくりを進める上で、公民館の存在は切り離せないものと考えており、まず、市民にしっかりと理解をいただくという意味で、今、公民館への市民の関心と呼び起こす対策が必要であり、素案の中でも公民館に触れていただき、その役割を市民にアピールしてほしい。</p>	<p>地区公民館は、生涯学習や地域活動の拠点として、大きな役割を担っていると認識しています。</p> <p>公民館に関する取組については、基本方針の「(2)①多様な主体の協働による元気で活力あふれる地域コミュニティの醸成」や「(3)④学びの文化の形成と情操教育の推進」などにおいて反映していきたいと考えています。</p>
29	<p>気候変動対策の視点が薄弱である。気候変動対策を「あれこれの施策のうちの一つ」と位置付けるのではなく、これまで当たり前だと思われていた生活を金沢市民がこれからも続けられるように、「都市像」において「土台をなすべき、最重要の施策」とすべき。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
30	<p>ごみや雑草等が折角の文化都市のイメージを悪くしている。地域や企業等と協力し、定期的に清掃作業を実施するなど環境美化に取り組んではどうか。</p>	<p>毎年、春・秋に実施する「全市一斉美化清掃」により地域住民の皆様が主体的に美化清掃に取り組んでいただいているほか、団体・企業等によるボランティア清掃での収集ごみを市が回収するなど、地域住民や企業等と連携した美化活動に取り組んでいます。</p> <p>また、昨年度、「高校生護美(ごみ)サポーター」を発足し、金沢マラソンや国民文化祭など大規模イベントにあわせ、まちなかの清掃活動を行うなど、若い世代の方にも参加いただき、まちの美化活動に取り組んでいます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、引き続き、環境美化に向けて取り組んでいきます。</p>
31	<p>各地区ではカラスとの戦いで頭を悩ましている方も多いため、ごみステーションにおけるカラス対策について、従来の防除ネットでは防げない状況にあり、ボックス等の設置を行うことが優先課題である。住民・地域からの要望を待つのではなく、行政が積極的にごみステーションの整備を行うことが必要だ。また、設置に伴う道路の占用許可が問題となっており、対策が必要。</p>	<p>多数の町会等へ貸与しているカラスネットは、一定の効果はあるものごみの量によっては、一部、カラス被害が生じることは把握しています。また、ボックス型のごみステーションは、道路事情などで設置場所が限られているほか、器材の出し入れが負担になるとの声も聞いています。</p> <p>このような現状を踏まえ、地域の皆様のご意見をお聞きしながら、実情に応じた支援を行っていきたいと考えています。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
32	<p>基本方針（3）①「・学生のまちへの愛着の醸成」は、「・学生とまちとの積極的な関係性の構築」に修正すべき。</p> <p>「まちへの愛着の醸成」を求めることを掲げるまちへ、まちの外の学生は、はたして積極的に来住・定住したくなるか？市は宗教教団ではありませんから、「まちへの愛着の醸成」を求めることは、不適切ではないか。「愛着」は結果として生じるものである。</p> <p>また、都市像に「学生のまちへの愛着の醸成」を盛り込むことは、市内の各大学への有形無形の圧力になりかねず、自主的な各大学の運営や、自律的で深い思考のできる学生育成に矛盾しかねないと危惧する。各地から来た学生の新鮮な視点や行動力・活力を「革新の息吹」として取り入れ生かせる、度量あるまちづくりをめざすべきあり、金沢市はそれが可能ではないか。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
33	<p>基本方針（3）②すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践 について、次世代の育成は非常に重要だと思う。特に「生きる力」を育む教育は、ぜひ全国に誇れる実践をしてほしい。それが金沢の魅力の一つになるとよい。</p>	<p>現在、学識経験者・有識者等からなる構築会議において、新たな「金沢型学校教育モデル」の構築を進めているところです。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
34	<p>・グローバル化への対応強化</p> <p>他都市の先進事例を参考に、金沢市でも小学校で英語コースを作るなど先進的な手法を取り入れてはどうか。豊橋市では、一部小学校において独自の英語コースを作ったところ、他地区からの入学希望者が増えたことでその地区の人口が増え、さらには地価が上がったと聞く。</p>	<p>本市では、平成16年度から小中一貫英語教育に取り組んでおり、英語インストラクターを配置し、担当教員とティームティーチングを実施するなど、英語教育に力を入れているところです。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
35	<p>学校給食共同調理場の建設が進められているが、学校給食は、教育として位置付けられた特別活動の一環であり、子どもたちの身体をつくり、心を育てる教育的営みである。子ども達に寄り添った食教育や個別の対応、地産地消を大切にしたい安全安心な献立づくりは、学校栄養職員・栄養教諭がいなければ実現できない。自校方式をなくし、共同調理場建設への移行は逆行している。</p>	<p>本市においては、単独調理場の老朽化が進み、敷地等の制約から改修等による調理能力の向上が難しく、効率的な運営を行うことが困難なことから、近代的な設備を導入し、衛生管理及び労働安全の面に配慮した共同調理場方式を採用しています。</p> <p>また、年間献立による給食を通じた計画的学習の推進や特色ある給食を通じた地元食材や食文化の理解など、栄養教諭を中心に児童・生徒、教職員が一体となって食品ロス対策や食育の推進に取り組んでいることから、調理場の方式に関係なく、学校給食の充実が図られていると考えています。</p>
36	<p>地域経済を牽引する新たな産業の創出・育成が重要。</p>	<p>令和5年3月に策定した「新産業成長ビジョン」や、年度内に取りまとめを予定している、新たな都市像を具現化する行動計画の着実な実践を通じて、産学官金の連携のもと、高い付加価値を生み出す新産業の成長・発展を図っていききたいと考えています。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
37	<p>「DX・GX」や「イノベーションを誘発する企業・クリエイターの誘致」等では、自治体戦略2040構想から第32次地方制度調査会答申にわたる行政の産業化や民営化が危惧される。呼び込み型からの転換も必要だ。一人ひとりが輝き、自然環境と人間社会が持続的に維持できるような地域づくりを持続するためには、地域内再投資力を地域住民の自治と結びつけて、そのネットワークと地域内経済循環を押し広げることが重要。</p> <p>断熱対策や地域主導型の再エネ事業は、生活の質の向上や地域経済の発展につながる。地域密着の脱炭素対策を促すためには、自治体が果たす役割は大きく、住民や地域社会に寄り添った将来計画を策定し、実践することが必要。</p>	<p>令和5年3月に策定した「新産業成長ビジョン」や、年度内に取りまとめを予定している、新たな都市像を具現化する行動計画の着実な実践を通じて、多様な人が交わり、集まり、つながり続けることができる環境を整えることで、金沢発のイノベーションの創出につなげていきます。</p> <p>また、地球温暖化対策としては、現在、家庭や企業における、創エネ・省エネ・蓄エネ設備の設置に伴う支援を行っており、引き続き、市民・事業者・行政が連携・協力した脱炭素化に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
38	<p>伝統文化の保存・継承は当然のこととして、「仕事づくり」については、正規職員としての雇用が重要であり、企業の設立・誘致を図ることを優先していただきたい。</p> <p>正規雇用が、県内・市内への居住につながり、その先に婚姻・子どもの出生があり、将来の出生率につながる。</p> <p>観光産業は経済基盤としては不適と考える。</p>	<p>本市として、企業の地元定着と雇用創出に向けて、安原異業種工業団地といなほ工業団地の拡張整備を行うとともに、企業誘致に注力し、順次、新たな工場等が操業を始めているところです。</p> <p>また、「金沢版働き方改革推進プラン」においても、若者や女性の正規雇用への転換などに努めており、引き続き多様な人材確保に努めていきます。</p>
39	<p>基本方針（4）④「・農林水産業の多様な担い手の育成・確保」に期待するが、具体策が全く見えない。どうしたら次代につながるができるかを示して欲しい。</p>	<p>現在、本市では、新規就農者を育成するため金沢農業大学校を開設し、時代のニーズに合った研修の充実を図るとともに、修了生への指導や助言など支援を行っています。</p> <p>また、生産性・収益力強化となる集落営農や農業法人組織の育成・支援を行うとともに農作業の省力化や効率化のためのスマート農業機器の普及などに取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>具体の施策については、年度内に取りまとめを予定している、新たな都市像を具現化する行動計画において検討していきます。</p>
40	<p>金沢市中央市場の有効利用について、例えば、鮮魚は金沢港近郊、青果は現在の場所など分けて、見学や体験ができるように工夫してはどうか。</p>	<p>金沢市中央卸売市場は、青果及び水産物を安定的に供給する物流拠点であり、現在は広く一般に開放していませんが、市場の役割を市民に理解していただき関心を高めていただけるよう、親子見学会や模擬せり体験などを実施しています。</p> <p>市場の建替えにあたっては、食文化・市場理解の醸成につながる情報発信機能の整備も検討したいと考えています。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
41	<p>世界共創文化都市を掲げることは大賛成だが、業務・商業の集積化や都市環境改善が進まず、10年後、20年後の金沢及び周辺都市圏の将来が危惧されるため、建物の高さ制限の緩和や、市内及び都市圏内の公共交通ネットワークの構築などに早急に取り組んでいただきたい。</p> <p>石川中央都市圏や石川県におけるリーダーとして、さらには北陸、日本海側を先導する都市として、確固たる地位を確立していかなければならない。10年とは言わず、5年(五カ年計画)で金沢のまちを大改革する気概を持ち、取り組んでほしい。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
42	<p>骨格となる都心軸の再興をぜひ進めてほしい。</p>	<p>都心軸沿線における施策に関しては、基本方針の「(5)①魅力あふれる中心市街地の活性化」において、「骨格となる都心軸の再興」などに取り組むこととしており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
43	<p>都心軸の土地利用についての問題が提起されていたが同感である。観光客で、一見、賑わっているように見えるが、市民・県民の足が向かない状況を危惧している。公共交通と土地利用は一体的なものであり、郊外と差別化した都心軸の魅力向上に資する具現的取組を望む。</p>	<p>なお、金沢駅東口から片町に至る都心軸においては、旧都ホテル跡地だけでなく老朽ビルの再整備等が課題となっていることから、都市再生特別措置法を活用することにより、民間による開発の機運を高め、都心軸エリア全体の面的整備の促進につなげていきたいと考えています。</p>
44	<p>土地利用について、例えば、旧市街地においては市主導で「『芸能』、『工芸』、『食』などの伝統文化」を楽しめる体験型店舗や飲食店、喫茶店の更なる集積をめざすほか、都心軸においてはランジットモールを実施するとともに、再開発で生まれる統一感を持たせた複合ビル群には「地域経済を牽引する新たな産業の創出・育成」の基盤を設けるなど、「伝統と創造」の二面性を隣接するエリア毎に分けて「調和」させること、これこそが金沢市の「まちづくりの規範」といえるだろう。</p>	
45	<p>金沢都ホテル跡地について、金沢市の拠点として、本格的な劇場とハイグレードホテルの併設を提案する。金沢には、OEKや楽都音楽祭があるものの、本格的な劇場がないので、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、東京新国立劇場のようなインパクトが必要だと考える。また、現在の金沢に足りないものとして、ハイグレードホテルが必要と考える。鼓門に並ぶ金沢駅前のシンボルとして、魅力ある駅前の形成を提案する。(設計は、金沢ゆかりの谷口吉生先生が適任。)</p>	
46	<p>金沢都ホテル跡地の再開発及びライブ1の建替え、別院通り口～白銀交差点間の高度土地利用開発を求める。</p> <p>ルキーナやみやびの低層階テナントの商業化、カフェ等の飲食店への業態変更など、駅前から武蔵ヶ辻の通り沿いに補聴器センターや老人福祉施設ではまちなかのにぎわいは作れないため、テナントの業態変更が必要。</p>	

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
47	金沢都ホテル跡地の再開発にあわせ、金沢駅東口地下広場から西口へ地下広場を拡充するとともに、西口方面、駅通り駐車場(別院通り口付近)までと日航ホテル方面へ地下街を整備してほしい。	同上
48	エムザ建替えによる高度土地利用再開発、周辺エリア(スタジオ通り～玉川方面)の街路整備を含めた再整備を求める。	
49	旧北陸中日新聞南町ビル跡地(現駐車場)に、百万石ゴールデンルートの起点となる土産屋を含めた商業観光施設を整備してほしい。	
50	都心軸線、特に南町界隈のビジネス街では日中に食事をするところが少ないため、旧日本銀行金沢支店については、高層階の人口農園とレストランを提案する。まちの中心にインパクトを与えて活気づくりにつなげてほしい。	
51	日本銀行金沢支店跡地と周辺の再開発による、新交通システムLRTラインのターミナル駅の開発整備を求める。金沢駅に次ぐLRTやバス、タクシー等の交通ターミナルの構築し、地下空間も考慮した香林坊エリアにおける拠点づくりを求める。	
52	歴史や文化の維持と都市間競争や発展をどのように両立または優先順位をつけるのか。中心部は文化的にも経済的にも重要な拠点だが、人流や人口を集める大学、公共施設、企業は徐々に郊外へ流れ、高さ制限などの物理的な集積制限もある。競争や拠点化を重要視する上ではこの流れは逆効果のようにも思われ、また同時に文化資産が存在する中心地から地元の方が減って行く事は文化の衰退に繋がる事も考えられたりはしないか。隣接都市、高岡市では、古い街並みは残ったが都市機能や人口は分散し、競争力や文化を維持する経済力も乏しいように思われる。	中心市街地における施策に関しては、基本方針の「(5) ①魅力あふれる中心市街地の活性化」において、「・多様な文化活動と地域経済が循環する中心市街地の形成」などに取り組むこととしており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
53	近年、中心市街地は、観光分野の施設に偏っているのではないかと。否定はしないが、観光に偏重したまちづくりでは一般市民の足が遠のいてしまうほか、景気や社会情勢の変化に左右され、一気に廃れてしまう可能性がある。観光以外に、市民向けの商業施設、オフィス街、官公庁街などを適切にレイアウトし、バランスの取れた都市づくり、まちづくりを行ってほしい。	
54	中心市街地の活性化には、企業の事業所などオフィス街の構築が不可欠。都市活動及び市民生活の中心は経済活動である。最近駅西～鞍月地区へとオフィス街が展開しているが、都心再生という視点で南町を中心にオフィス街を再構築していくべきと考える。	

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
55	<p>中心市街地の活性化には、官公庁街が必要。一定の賑わいが確保できるし、なにより市民の利便性が向上する。市民、県民を金沢の中心部へ呼び込むには、ショッピングや行楽も良いが、何より役所(官公庁)への「必要不可欠な用務」の効果は大きい。</p> <p>石川県庁や駅西合庁、新神田合庁などが、現在、郊外に点在しているが、広坂地区を中心とした官公庁街を再構築することが望ましく、10年後、20年後の視点を見据え計画してほしい。</p>	同上
56	<p>金沢駅の出入口について、現在の2箇所を、フォーラス時計台駐車場側に北口、中橋側に南口として増設してほしい。また、これに伴い北口南口方面への百番街の拡充してほしい。</p>	
57	<p>金沢駅周辺への大学サテライト教室の誘致や、劇団四季の日本海側拠点施設の金沢誘致を求める。</p>	
58	<p>金沢駅東口～中島大橋間の業務商業マンション群の高度土地利用開発を求める。</p>	
59	<p>金沢駅東口～御影大橋間の線形を整えた街路整備や、駅前業務地区からの拡充エリアとして、商業(飲食)やマンション群をメインとした高度土地利用再開発を求める。</p>	
60	<p>橋場町～尾張町～武蔵ヶ辻～白銀～六枚～長田本町～藤江(国道8号)への通りを副都心軸として位置付け、都心軸(有松～野町～香林坊～武蔵ヶ辻～金沢駅～西念～県庁～鞍月～金沢港)を保管する第二のメインストリートとしての市街地再開発整備促進を求める。</p>	
61	<p>六枚～白銀～武蔵ヶ辻間の業務商業マンション群の高度土地利用開発を求める。</p>	
62	<p>白銀交差点～玉川図書館への線形を整えた街路整備かつ、マンション群をメインとした高度土地利用再開発を求める。</p>	
63	<p>別院通り～安江町北～金沢表参道沿いの歩行街路整備、にぎわい環境整備を求める。</p>	
64	<p>武蔵ヶ辻～尾張町～橋場町への百万石通りの木の文化都市に相応しい街路整備や、ひがし茶屋街へのアクセス歩行空間の拡充整備を求める。</p>	
65	<p>東別院から安江町緑地の間における、高度土地利用市街地再開発事業の早急な整備開発を求める。</p>	
66	<p>近江町市場～お堀通り～大手町交差点(小池病院付近)エリア内の歴史文化街道の街路整備含めた再整備を求める。</p>	

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
67	片町～長町～元車交差点間の線形を整えた街路整備や、片町繁華街からの拡充エリアとして、商業(飲食)やマンション群をメインとした高度土地利用再開発を求める。	同上
68	広小路交差点角(旧北国銀行ビル跡地)に、にし茶屋街や寺町寺院群への拠点となる土産物屋を含めた商業観光施設の整備を求める。	
69	野町駅周辺の大膽かつ抜本的な市街地再開発事業の実施、石川線LRT化(金沢都市圏新交通システムLRTラインとの接続)による鉄軌道整備を含めた市街地再開発を求める。	
70	<p>金沢歌劇座を現在地で建て替えるには、条例の高さ制限がネックだが、公共性が高い建造物であるため、条例の「特例」として認めても市民から苦情が出るとは考えにくいとため、「特例」を認めても良いのではないかと。</p> <p>現在地以外の建設候補地として、旧都ホテル跡は有力候補だろうが、県立音楽堂との競合も考えられる上、市への売却も難しそうだと。</p>	<p>金沢歌劇座については、今年度、現敷地における実現可能な施設規模等を踏まえ、令和元年度に取りまとめたあるべき姿の機能を補足する手法について、調査検討を重ねているところであり、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
71	金沢歌劇座について、用途変更により、図書館としての施設再利用を提案する。イメージとしては県立図書館のような形態の開架式図書館で、耐震改修も必要だろう。(設計は、金沢市民芸術村設計の水野一郎先生が適任。)	
72	片町市街地再開発(海側・山側)の早急な事業化を求める。	現在、権利者により事業化に向けて検討を行っているところであり、市としても引き続き支援をしていきます。
73	<p>自転車利用の促進とその走行空間確保が謳われていない。「交通行動の転換」と抽象的に謳われてはいるが、ライドシェアなどと同様に自転車利用と走行空間確保を明文化すべきではないかと。まちなりもあるとので、自転車レーンをますます拡充して、安心して歩道を歩ける街づくりを目指してほしい。歩道を安全に安心して歩けるまちづくりこそ金沢のブランド力向上につながるかと考える。</p> <p>また、自転車の利用促進は、「基本方針2③心身ともに健やかに暮らせる健康都市の推進、④人と自然が共生する地球にやさしい生活環境の形成」にも通じることだと思ふ。</p>	<p>本市では、これまでも自転車利用の推進のため、安全で快適に通行できるよう自転車通行空間整備等を推進しています。</p> <p>いただいたご意見については、年度内に取りまとめを予定している、新たな都市像を具現化する行動計画において検討していきます。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
74	<p>観光の目的はいまや名所旧跡を巡ることだけにとどまらず、その地で暮らす住民の日常に触れ合う時間を非日常の体験として楽しむことが重視されてきている。「文化観光」の眼目もここにあり、施設での文化体験も大事だが、地元の生活者との何気ない社交体験も大事だ。中心部こそ社交のために設えられた特別の都市空間であり、社交の最高の舞台である。マイカーの流入抑制を課題とせず、駐車場問題をなおざりにするなら、中長期的にみて金沢の文化的魅力は低減し、「都市ブランド力」の低下が懸念される。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
75	<p>中心部へのアクセスが悪く、駐車場等のスペースが不足している。イベント・行事等では、交通規制を設けるなど対策が必要ではないか。</p>	<p>本市では、これまでも観光期や年末年始及びイベント時等において、まちなかでの渋滞緩和による良好な交通環境を保つため、臨時パーク・アンド・ライドを実施しています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
76	<p>「世界の共創文化都市」を掲げる以上、「街路や用水、歴史遺産などの都市景観、すなわち文化的景観」の毀損について従来以上に敏感になるべきだ。特に問題視すべきは、中心部の平面駐車場である。町家が空き家になり、さらにはコインパーキングに化すという状況は文化都市らしくない。「まちの佇まい」を守るため、「品格ある都市景観の形成」は急務である。</p>	<p>主に中心市街地に指定している景観形成区域では、駐車場や駐車スペースを設ける場合には、生垣緑化や塀等による修景など景観形成基準を設けており、引き続き、良好な都市景観の形成を誘導していきます。</p> <p>また、まちなかにおける空き家、空き地等の駐車場化は、都市化の活力と生活空間における交通の安全性を低下させる要因にもなることから、引き続き、駐車場の配置や利用等について適正に対応していきます。</p>
77	<p>基本方針（5）②「・無電柱化による良好な景観形成」は、「・無電柱化など、色彩・眺望を重視した、品格ある景観形成」に修正すべき。</p> <p>無電柱化は、景観形成に必要な一側面だが、それだけで金沢にふさわしい景観形成がなされるわけでない。これまで金沢市が「金沢市景観総合計画」を策定し、行政と事業者・市民の連携のもとで進めてきた実績をふまえた内容にすべきである。目指すべき「都市づくり」のための施策として、「品格ある都市景観の形成」が掲げられており、これを基本方針でも明記して生かすべき。すぐれた景観は、住民の暮らしやすさを向上させ、同時に国内外の観光客・来住者を惹きつける大きな要素である。平板な「無電柱化による良好な景観形成」ではなく、金沢市にふさわしい質の高い景観を目指していることを具体的に示す表現にすべき。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
78	無電柱化の推進について、進行状況はいかがか。	金沢方式無電柱化推進実施計画に定める計画延長14.8kmに対し、整備済み延長は2.3kmです。（進捗率15.8%） 現在、下新町や観音町1丁目、寺町5丁目などの4路線にて整備を進めているところです。
79	金沢駅西口側にも大規模な商業施設が必要である。通称10ブロックの開発として、マリオットホテル建設や金沢アリーナ開発を求める。	貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
80	広坂合同庁舎を駅西エリアへ移転し、跡地は、セントラルパークとして緑地広場を整備してほしい。	都市開発における施策に関しては、基本方針の「(5) ⑤災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践」において、快適な生活環境の形成など全市的に取り組むこととしており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
81	金沢駅西～西念～県庁～鞍月～金沢港の50m通り沿いには、高度土地利用による高次機能を兼ね備えた業務商業施設の集積化を求める。	
82	南新保土地区画整理事業の整備による県立中央病院周辺のまちなみ形成を求める。	
83	鞍月エリアの東京インテリア付近に、世界会議が可能な国際会議場の建設を求める。	
84	諸江上丁～国道8号～大河端(海側環状交差点)間の片側二車線確保かつ、線形を整えた街路整備を求める。	都市計画道路3・4・5諸江向栗崎線は、幅員16m、片側1車線の幹線街路であり、平成30年3月に新道路基本計画において計画継続の判定がなされました。 また、短期整備として、同路線の諸江交差点(国道8号と市道の交差点)において、市道部に左折車線を付加することで渋滞緩和が期待できるため、今年度末に交差点改良を完了する予定です。
85	金沢港周辺エリアにおいて、市街化区域への用途地域の変更を行い、金沢クルーズターミナル～いきいき市場～大野港周辺での一体的な金沢みなとエリアの再開発再整備を求める。	都市開発における施策に関しては、基本方針の「(5) ⑤災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践」において、快適な生活環境の形成など全市的に取り組むこととしており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
86	金沢港クルーズターミナル周辺に、貿易センタービルとなる高層ビルの建設を求める。また、ライトアップを含めた都心軸の都市景観の向上と、金沢駅から金沢港に至る50m道路沿いに日本海に通ずるメインストリートの構築を求める。	
87	西金沢駅、東金沢駅、森本駅の3駅周辺の再開発を求める。特に、東金沢駅～三池・高柳エリアの道路整備、マンション群等の高度土地利用開発の促進、鉄道を活用した利便性の高い駅前周辺の商業施設や住宅街の開発を求める。	西金沢駅、東金沢駅、森本駅の3駅周辺(500m圏内)は金沢市集約都市形成計画(立地適正化計画)で都市機能誘導区域の中の地域拠点として位置付けています。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
88	北陸鉄道浅野川線、石川線の各駅周辺の駅前らしい利便性の高い住宅開発を中心とした拠点整備を求める。	北陸鉄道浅野川線、石川線の各駅周辺（300m）は公共交通重要路線等沿線区域であり、金沢市集約都市形成計画（立地適正化計画）において、居住誘導区域として位置付けています。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
89	金沢での都市づくりを計画していく場合、特定の経済団体の考えを受け入れるのではなく、幅広く市民の意見を優先して策定してほしい。町会、町会連合会、市民団体、学生団体など様々な団体とのヒアリングやタウンミーティングを行い、あくまでも公平かつ市民ファーストで進めてほしい。	これまでも市民や多様な主体から、今後のまちづくりに関する意見を幅広く聴取してきているところです。 いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
90	基本方針（5）③「・移住・定住の促進や関係人口の拡大による地域活性化」に期待するが、何をどうするか具体策が見えない。	現在、本市では、移住者や地域おこし協力隊OBで構成する「金沢市移住者ネットワーク」のメンバーの協力を得て、本市の魅力や暮らしの情報をSNS等で発信しているほか、首都圏等で開催される移住フェアへ出展するなど、移住促進に取り組んでいます。 具体の施策については、年度内に取りまとめを予定している、新たな都市像を具現化する行動計画において検討していきます。
91	薬師谷・三谷地区では、特に少子高齢化が加速している。テクノパーク、インター工業団地があるため、昼間人口が地域人口と同じくらいになるが、その一方で地域人口は減少の一途をたどっている。「市街化調整地域」の縛りがネックとなり、2,000人以上の人が地域外から通勤しており、このうちの1割でも2割でも地域に定住してくれば通勤渋滞の解消や地域人口の増加が期待できる。	中山間地域におけるまちづくり施策として、現在、地域交流拠点地区の形成などに取り組んでいます。 また、基本方針の「（5）③人と活力の還流による地域の再生」において、「・移住・定住の促進や関係人口の拡大による地域活性化」などに取り組むこととしており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
92	中山間地域では、現在、空き家も増加しており、改修や移転にかかる支援が制度化されることで、移住の促進につながると思う。	

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
93	<p>中心市街地の開発にばかり注力（偏重）するように読み取れる。現実には、同じ市内ではありながらも、北部地域には、図書館等の文化施設や大きな病院がない、買い物をできる店が遠い、北陸鉄道の路線バス廃止に伴い運航開始したチョイソコが交通網として貧弱、夜になると幹線道路沿いも真っ暗になる、などさびれている。については、基本方針5に下記の追記を提案する。</p> <p>北部地域のサテライト市街地化への開発促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地のサテライト的な市街地としての開発推進 ・ 文化施設、商業施設の初期構築 ・ 河北潟や田近越古道といった文化・自然資産をコアとする観光資源開発 ・ 地域交通（チョイソコ）の中心市街地への直通化による新しい交通網の構築 ・ 農振の規制緩和による各種開発推進 	<p>活力ある地域づくりに向けて、基本方針の「（２）多様な人が強制し、心豊かに暮らせるまち」など全市的な取組や、「（５）③人と活力の還流による地域の再生」など地域における取組を盛り込んでいます。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
94	<p>金沢市の規模を考えると、魅力的で生活に根ざした文化的なインフラを郊外に適正に配置することが大事だ。</p> <p>北部地域にはそうした施設には大変乏しいため、虫食いの開発を抑制し、核となる文化的施設を中心において、北部地域を静かに発展させることが大切ではないか。北部の開発は、将来のために金沢に残された大切な地域であり、時間をかけて検討するのがよい。</p>	
95	<p>様々な世代、関係団体、階層での意見聴取を重ねてきたことについては評価できるが、取組内容が「まちなか」中心に感じる。中山間地域在住者として、地域の消滅の危機を感じる。</p>	
96	<p>基本方針（５）③「・外部人材の誘致・活用」「・田園・中山間地域における交流拠点の形成」の具体策として、「道の駅」の設置を提言する。金沢市は全国的にも珍しい「道の駅」がない県庁所在地だ。有能な外部人材を誘致・活用により、採算が取れる運営が実現すれば、地域の活性化につながる。「道の駅」を加賀野菜のアンテナショップとしても活用し、金沢産材の普及促進にもつなげてもらいたい。安直に市有地活用するのではなく適切な用地を検討し、新たな施設として設置してもらいたい。</p>	<p>貴重なご意見として承りました。いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
97	<p>「都市づくり」では、「歩行環境の整備」を謳いながら、地下駐車場建設で車を中心街に呼び込んできた。第3次交通戦略にもある「都心軸」ではなく、基本的人権としての「好きな時に好きな場所へ移動する」権利を守る、市民本位の新たな移動政策が必要となっている。郊外にコミュニティバスを走らせて欲しいという、強い願いに応えることが必要だ。</p>	<p>高齢化や人口減少の中で地域の移動手段の確保は重要な課題であると認識しており、郊外の公共交通が不便な地域においては、地域が主体となって導入する「地域運営交通」を支援する制度を設けており、地域の皆様と十分に意見交換を重ねつつ、地域の移動ニーズに対応した運行ルートや頻度を設定することで、持続可能な地域内交通が実現すると考えています。今年度より地域運営交通に係る負担軽減措置や、免許自主返納者への支援を拡充したところですが、今後も、運営の持続性確保のために必要となる技術的・財政的な支援を継続していきます。</p>
98	<p>高齢化が進む中、郊外に住む高齢者の生活の為の足が必要であり、郊外における公共交通機関のアクセス向上が重要。バス路線の新しいルートの導入、運行頻度の増加など、高齢者が簡単に利用できる公共交通機関の拡充整備が早急に必要。高齢者の個別の移動手段確保への支援、歩行者や自転車のための歩道・自転車道の整備、電動車椅子の利用促進のためのインフラの整備などが考えられる。高齢者の視点による交通の整備は、高齢者の社会参加につながる必要な取組だ。</p>	<p>高齢者が過度に自家用車に依存せずとも移動できる交通環境の整備は重要であると考えており、いただいたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
99	<p>新幹線開業後、金沢駅周辺での再開発が著しく、鉄道の効果と言える。香林坊や武蔵ヶ辻などの中心市街地の活性化及び都心軸の再興には、鉄軌道路線の導入が不可欠。</p> <p>ビジネスマンにとって、会議や商談、打合せ等にかかるスケジュール管理において、バスの遅延は敬遠されるため、ビジネスの活動が金沢駅周辺に限定されかねない。鉄軌道路線が整備されれば、都心軸に新たなビジネス拠点が生まれるだろう。</p>	<p>コロナ禍や燃料価格高騰、バスの運転手不足などにより、公共交通の存続が危機的な状況にあり、将来も見通しづらくなっています。こうした中で、これ以上の利用者減少を防ぐことが喫緊の課題であり、現在のバス利用者の7割が都心軸より郊外を発着地としており、乗換抵抗が強いことも鑑み、これ以上公共交通の利用者を減らさないよう現在のバス路線を生かしつつ、バスのサービス水準向上（バス停の機能向上、連節バスによる輸送力向上、バス専用レーンの強化等）により、より多くの市民や来街者に公共交通利用していただけるよう取り組みます。</p>
100	<p>全国の県庁所在地の繁華街には、鉄道の駅か軌道（路面電車）の電停が存在している。金沢にはバス停しかなく、金沢の中心市街地が衰退している大きな原因だと考える。バス交通とは求心力が根本的に異なり、中心市街地の活性化や都心軸の再生のために、都心軸に鉄軌道を整備し、香林坊や武蔵ヶ辻に駅や電停が設置することで、新たな賑わいも生まれるだろう。</p>	<p>第1段階における「バスのサービス水準向上」は、公共交通の利用促進、自家用車の移動減少による市内の自動車交通のスムーズ化にもつながる取組として重要であると考えています。また、第1段階の導入効果などを踏まえ、第2段階として新しい交通システムの機種や走行方式、導入区間などを検討していきます。</p>
101	<p>県外のビジネスマンや観光客を呼び込むためには、しっかりした公共交通機関の整備が必要。また、人々をマイカーから公共交通に転換させる場合にも、マイカー以上に快適で高速性に優れる公共交通機関が必要である。この役割を路線バスに任せることは困難であり、鉄軌道による交通ネットワーク整備を最優先施策として取り組むことが望ましい。</p>	<p>鉄軌道路線の導入に関するご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
102	<p>これからの厳しい都市間競争を勝ち抜くために、近代的な都市鉄道の整備、鉄軌道による交通インフラ整備が必要と考える。都心軸においては、LRTのような新交通システムを導入が必要。石川中央都市圏においては、IRいしかわ鉄道線や北陸鉄道石川線、浅野川線を活用し各路線の相互乗り入れを行い高度なネットワーク化を図る事を求めたい。</p>	同上
103	<p>「『保存と開発の調和』という、まちづくりの規範」、すなわち「まちづくりの文化」に照らし、その具現化として《交通まちづくり》の強力な推進を希望する。「素案」の全体を俯瞰的に読み解くと、金沢市の「概ね10年後」の「都市像」の真ん中あたりに、マイカー流入抑制とトラム導入を一体とする《交通まちづくり》の必要がおのずと浮かび上がってくるといっても過言ではない。LRTについては、四半世紀前から検討を続けているのだから、意思決定を急いでもらいたい。</p>	
104	<p>中心部へのマイカー流入の抑制が必要であり、「日本海国土軸における主要都市である金沢市」は欧米の地方中核都市に倣い、金沢市の定義する《新しい交通システム》としてLRT＝トラムを都心軸に早急に導入すべきではないか。マイカーの流入が減れば駐車場の集約も進めやすくなる。既存の立体・地下駐車場を有効に使い、同時にパーク＆ライド施設、フリッジパーキングを拡充し、公共交通と連動した合理的な駐車場再編に着手すべき。</p>	
105	<p>マイカーへの規制的関与の適切さは都市の文化的成熟度を測る一つの重要な物差しである。文化を重視する世界の諸都市は、都心での脱マイカーを促す政策手段としてLRT＝トラムを位置づけている。LRTの導入は道路空間の再配分であり、それは都心空間の再構成を導き、そこでの社交のあり方を再編成する機会を与え、「まちづくりの文化」と密接に関連している。</p>	
106	<p>世界中のLRT導入都市では、連節バス（日本でのいわゆるBRT）よりも大きな輸送力を活かし、中心市街地の活性化を図っている。さらに、連節バスよりもバリアフリーで乗り心地が良いという特性を活かし、「福祉サービス」を高めている。こうして、車椅子やベビーカーの利用者も気軽に都心を移動でき、市民と来街者が共に「居心地よく過ごせる空間の創出と魅力ある歩行環境の整備」を進めている。もはやウォークアブルシティの実現は「都市間競争」に参加する前提条件になっているといっているだろう。《歩けるまちづくり》は「移住・定住の促進や関係人口の拡大による地域活性化」にも資する。</p>	<p>街路空間を車中心から“人中心”の空間へと再構築するため、まちづくりと連携したトランジットモールの取組や、まちなかの駐車場の適正な配置、さらには高齢者、子ども、障害のある方など、市民の誰もが安全に楽しんで歩けるまちづくりに向けて、地元・関係課・有識者などの意見をもとに歩行空間の創出に努めていきます。</p>

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
107	<p>環境（「自然環境」「生活環境」「人間環境」）についていえば、排気ガスと騒音への規制も文化都市のあり方を左右する政策課題であり、自動車とバスだけが占め、時に渋滞の激しい現状の「都心軸」は、都市の顔として決して文化的とはいえない。「ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進」のために、EV化の進展を待つまでもなく、例えば一人乗りガソリン車（通過交通）の都心への（ロードプライシング試行等の）段階的流入規制を、他都市に先駆けて本格的に検討してもよいのではないかと。</p>	<p>本市は歩行者・自転車・公共交通優先のまちづくりを進めることとしており、公共交通の環境面に対する効果は極めて重要な要素の一つであり、公共交通の利便性向上による自動車からの転換や環境負荷の低い車両の導入など、公共交通の利用促進自体が環境負荷の低減に繋がると考えております。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
108	<p>地球温暖化・気候変動への対策は、人類共通の喫緊の課題である。日本国内におけるCO2排出量は、産業部門に次いで運輸部門が大きく、そのほとんどが自動車からの排出である。</p> <p>金沢がゼロカーボンシティを目指すならば、排気ガスを出すマイカーやバスを徐々に減らし、電車など電気交通中心の交通体系を構築すべきである。特に、都心軸にLRTのような象徴的な交通システムを導入すれば市民へのアピールやインパクトは大変大きいと考える。市民の環境に対する意識を変えるためにも、象徴的な存在としてLRTを導入すべきと考える。</p>	<p>ゼロカーボンシティの実現のため、バスのEV化など環境に配慮した車両の導入は重要であると考えています。</p> <p>また、ご指摘のLRTなどの新しい交通システムの導入については、コロナ禍や燃料価格高騰による公共交通の危機的状況を踏まえ、第1段階としてバスサービス水準の向上により、需要の回復とさらなる利用促進を図ることとしており、今後、第2段階として、第1段階の導入効果や集約都市形成の進捗状況などを踏まえて検討することとしております。</p>
109	<p>市の施設の活用(遊休不動産の活用) 市営住宅の住居率からみて、現状は多すぎる。今後は、緑地化を推進するなり、新しい交流の場として土地を提供してほしい。</p>	<p>市有施設に関しては、基本方針の「(5) ⑤災害に強く効率的で質の高い都市運営の実践」において、「・都市施設の再編と跡地等の有効活用」などに取り組むこととしており、いただいたご意見については、具体の施策を検討する中で、公共施設等総合管理計画も踏まえ、参考とさせていただきます。</p>
110	<p>公民館や児童館等、過疎地域における市施設の統合が必要ではないか。</p>	

(注) ご意見については、一部要約して記載しております。